

ライフサイクル における運動と 身体活動の専門 家としての理学 療法士

ポリシーステートメント

© World Physiotherapy 2023
www.world.physio



推奨引用: World Physiotherapy. Policy statement: Physiotherapists as exercise and physical activity experts across the life span. London, UK: World Physiotherapy; 2023. Available from: <https://world.physio/policy/ps-exercise-experts>

ライフサイクルにおける運動と身体活動の専門家としての理学療法士

世界理学療法連盟は、座りがちなライフスタイルを送る人が増え、身体的不活動が罹患、障害、死亡につながる非伝染性疾患の主要な危険因子の一つであることから、生涯にわたる運動と身体活動のための効果的戦略の実施が不可欠であると考えます。運動と動作の専門家として、また危険因子や病態、あらゆるシステムへの影響について熟知している理学療法士は、身体活動や運動の活動や取り組みを促進、指導、処方、管理する理想的な専門家であるといえる。

身体活動と運動はウェルビーイングとフィットネスを促進し、長期的な状態の予防と管理における重要な貢献要因である。これらは、筋力、パワー、持久力、柔軟性、バランス、リラクセス、精神的ウェルビーイング、そして病態生理、痛み、障害、活動制限、参加制限の改善に対する強力な介入である。理学療法士は、長期的な疾患や合併症を持つ人、身体活動や運動のレベルを上げ始めた人に対し、安全で効果的な身体活動や運動を指導・促進する上で重要な役割を担っている。

運動と身体活動の専門家としての理学療法士の役割を促進するために、世界理学療法連盟は加盟組織に対して以下のことを奨励し、支援している：

- 理学療法士専門教育において、特に患者／利用者が生涯にわたって必要とする運動と身体活動の検査／評価および介入／治療に関する包括的な知識基盤を確保する。これは、以下を通じて達成される（ただし、これらに限定されない）：
 - すべての理学療法士エントリーレベル専門教育プログラムにおける運動と身体活動に関するカリキュラム内容(1, 2)
 - 年齢層を超えて起こる生理学的変化の多面的な性質をカリキュラムに含める。
 - 運動を通して患者／利用者の身体的／精神的ウェルビーイングを促進する理学療法士の独自の機会に関する教育資料
 - 患者／利用者のための運動と身体活動に関する教育および実践のリソース
 - 世界理学療法連盟、地区、全国学会での患者／利用者のためのエビデンスに基づく運動教育プログラムの紹介
 - 患者／利用者のための運動処方に関する継続的な専門能力開発の機会
- 安全で効果的な患者/利用者の運動パラメーターのための以下のような実践ガイドラインをサポートする：
 - 利用可能なエビデンスに基づいた、患者／利用者のための安全な運動プログラムのためのガイドライン
 - 運動の必要性を評価するスクリーニングプログラム（地域、学校、高齢者プログラムなど）のためのガイドライン
- 生涯を通じた運動を支援するための最良のエビデンスを、以下のように一貫して統合する：
 - 患者／利用者のための運動に関する既存のデータベースやエビデンスに基づく文献を活用する。
 - 患者／利用者のための運動プログラムに関する研究のための資金源を公表する。
- ライフサイクルにおける患者／利用者のための運動および身体活動の専門家としての理学療法士の役割と利点について、専門家コミュニティに啓蒙する：
 - 患者／利用者のための運動に関する専門出版物における情報
 - 地域ネットワークグループ
 - 患者／利用者のための運動プログラムの提供における運動専門家としての理学療法士の重要な役割について、医療およびその他の医療専門職の認識を高める。
 - 患者／利用者のための運動に関する理学療法士間の情報交換（例：ウェブサイト、フォーラム）
- 利用者に質の高いサービスを提供するために、運動プログラムに携わる他の職種（「トレーナー養成」としての理学療法士の役割を確立する。ライフサイクルを通して患者／利用者のための運動お

よび身体活動の専門家としての理学療法士の役割と利点について、以下のような方法で消費者コミュニティに啓蒙する:

- 一般の人々に情報を提供するためのコミュニケーション戦略を調整する。
 - 運動およびアクティビティプログラムにおける理学療法士の役割について、一般向けに資料（ウェブサイト、パンフレット、交流形式など）を提供する。
 - 関連する組織やグループ（例：世界保健機関、学校、退職者グループ、骨粗しょう症グループ、糖尿病財団）と連携し、協力し合いながら共通の目標を設定し、患者／利用者のための運動および身体活動の専門家としての理学療法士の役割を推進する。
-

用語集 (<https://world.physio/resources/glossary>)

Evidence-based practice (EBP) (エビデンスに基づく実践)

Exercise (運動)

Physical activity (身体活動)

Approval, review and related policy information	
Date adopted:	Approved at the 16th General Meeting of WCPT June 2007 Revised and re-approved at the 17th General Meeting of WCPT June 2011 Revised and re-approved at the 18th General Meeting of WCPT May 2015 Revised and re-approved at the 19th General Meeting of WCPT May 2019 Revised and re-approved at the 20 th General Meeting of WCPT May 2023
Date for review:	2027
Related World Physiotherapy policies:	World Physiotherapy policy statements: <ul style="list-style-type: none">• Primary health care• Education World Physiotherapy physiotherapist education framework

References

1. World Physiotherapy. Physiotherapist education framework. London, UK: World Physiotherapy; 2021 [3 Nov 2023]. Available from: <https://world.physio/what-we-do/education>.
2. World Physiotherapy. Guidance for developing a curriculum for physiotherapist entry level education programme London: World Physiotherapy; 2022 [29 Nov 2023]. Available from: https://world.physio/sites/default/files/2022-09/Curriculum_framework_guidance_FINAL.pdf.

© World Physiotherapy 2023